



At the heart of the image

写 真 部 応 援 マ ガ ジ ン

Top Eye

boys & girls photo magazine

No.240

Late Winter 2007 **2-3**

第143回

TopEye賞

「出航」安齊 拓真 (横浜市立六角橋中学校3年)



フォトフォトサロン

2006年 年間グランプリ受賞校発表!

視想講座 VOL.236
中里和人「日常の中にある見知らぬ世界」



斉藤式TopEyeデジタル写真塾 その4
「写真を美しくプリントしよう」

ガンバレ写真部!

千葉県立柏南高等学校
「写真は“楽しんで撮る”
から楽しい!」



Nikon News

第2回「TopEye 出張デジタル写真塾」in 広島



Photo Photo SALON

2006年 年間グランプリ受賞校発表!

“ 何かを表現したい気持ち ” 審査員 / 大西みつぐ

年間を通して、たくさんの作品をご応募いただいたみなさんの努力に対し、心より御礼申し上げます。ささやかな写真の場ではありますが、今年度もまたにぎやかな作品がたくさん集まりました。何かを表現したいという気持ちをシャッターに託す。そうした豊かな心のありようを、これからも一緒に確かめていけたらうれしく思います。受賞校のみなさん、おめでとうございます。さらに元気に、もっと軽やかに、写真を写す楽しさ、喜び、戸惑いをここで自由に伝えてください。

最優秀賞 賞品 / D40ダブルズームキット(D40、AF-S DXズームニッコール ED18-55mm F3.5-5.6G、AF-S DXズームニッコール ED55-200mm F4-5.6G) 賞状、楯

中越高等学校(新潟県)

部員数:男子1名、女子16名 部長:山本さやかさん(2年) 副部長:佐藤睦美さん(2年) 顧問:岡村国次先生、関根伸一先生



最後列4列目から...今井初美さん(3年)、小林愛さん(3年)、岡村国次先生、今井夏子さん(3年)、青 柳さん(3年) 3列目左から...倉橋彩さん(3年)、清水彩子さん(3年)、永井みのりさん(3年)、安藤知里さん(3年) 2列目左から...佐藤睦美さん(2年)、山本さやかさん(2年)、佐藤咲子さん(2年)、相場義泰くん(2年) 最前列左から...澁谷陽菜さん(1年)、諏佐加奈子さん(1年)、中尾知穂さん(1年)、武内萌さん(1年)、高坂しおりさん(1年)

受賞コメント

まさか、最優秀賞をいただくとは想像もしませんでした。部員一同うれしく思っています。部員一人ひとりが頑張ったからこそ取れた賞だと思います。今回の受賞が、まぐれだと思われないように、これからも頑張っていきます。ありがとうございました。

他校にメッセージ

こんにちは、中越高校写真部です!!『Top Eye』誌上をもっともっと利用し、他校のみなさんとの交流を深めたいと思っています。みんなで、もっと素敵で素晴らしい写真を作り、レベルを上げていきましょう!!!

先生からのひと言

思いもよらない大賞で、本当に驚きました。写真部生徒の活動が評価されたことに対し、感謝申し上げます。受賞を励みに、“写真の持つ力”を地域文化の向上に役立てたいと思います。来年度は新入生を迎え、ゼロからスタートします。今後ともよろしくお願いします。



おお、全員浮いてる～!!
奇跡の瞬間を激写。

部員が部員を
ひっぱって。
それをまた部員
がひっぱって...



いよっ!
みんなでお揃いポーズ。



引きのばしに挑戦(?)
真剣な表情。



優秀賞 賞品 / D40レンズキット(D40、AF-S DXズームニッコールED18-55mm F3.5-5.6G) 賞状、楯

新潟県立十日町総合高等学校(新潟県)

部員数:女子12名 部長:岩崎元美さん(3年) 副部長:綱 佑子さん(3年) 顧問:田辺千勝先生、坂上修栄先生



後列左から...阿部歩美さん(2年)、高野紗季江さん(2年)、小玉唯里菜さん(2年)、関谷美奈子さん(1年)、羽鳥絵里加さん(1年)、渡部玲奈さん(1年)、市川ひかるさん(1年)、中條知佳さん(1年) 前列左から...田辺千勝先生、綱 佑子さん(3年)、岩崎元美さん(3年)、保坂麻衣さん(3年)、半戸樹理さん(3年)、坂上修栄先生

受賞コメント

優秀賞という素晴らしい賞をいただくことができてとてもうれしいです。ありがとうございました。私たちのモットーは“楽しく自由に”です。これからも部員同士で刺激し合って、見ている人を楽しくさせるような写真を撮り続けていきたいと思っています。

他校にメッセージ

いつもみなさんの写真を見て、いろいろな撮り方があるんだと日々勉強しています。これからもこの誌上を通し、みなさんと交流していけたらうれしいと思います。

先生からのひと言

年間優秀賞ありがとうございました。1年間毎回かかさず応募に取り組んだ成果と、部員とともども喜んでます。部員には2007年も“何事にも挑戦する写真部”を目標してほしいと思っています。

これはこっちに付けてっ。
作品整理も大事な作業。



雪と桜の
みごとに美しさ。
新入生を迎えて
記念撮影。

敢闘賞 賞品 / COOLPIX L5、賞状、楯

茨城県立波崎柳川高等学校(茨城県)

部員数:男子1名、女子19名 部長:小幡美幸さん(2年) 副部長:菊池のの子さん(2年) 顧問:柴原俊男先生、星野仁見先生



後列左から...星野仁見先生、伊藤加織さん(3年)、安藤晴香さん(3年)、安藤千明さん(3年)、小林美絵子さん(3年)、海老実可子さん(3年)、小林雅也くん(3年) 中列左から...柴原俊男先生、川口綾子さん(2年)、沼田菜緒さん(2年)、平野礼恵さん(2年)、峰智美さん(2年)、橋由香里さん(2年)、大竹まみさん(2年)、安藤帆さん(1年) 前列左から...辻真理絵さん(2年)、大根祥子さん(2年)、菊池のの子さん(2年)、小幡美幸さん(2年)、柴田美咲さん(1年)、佐藤美裕さん(1年)、金澤綾香さん(1年)

受賞コメント

今回、このような賞をいただけて、とてもうれしいです。年間敢闘賞を受賞できたのは、一人ひとりの努力の結果だと思います。次是最優秀賞を目指して、いっぱい写真を撮って、みんなで頑張りたいです。

他校にメッセージ

今年は、もっと他校のみなさんと様々な交流をしていけたらいいなと思います。これからも、みんなで楽しく写真を撮っていきましょう!

先生からのひと言

現在の3年生が1年生のときから、フォトフォトサロンの年間グランプリ受賞を目指して、部員全員で応募してきました。今回、年間敢闘賞をいただき、部員たちの3年越しの目標が達成できたので、とてもうれしく思っています。

審査員特別賞 賞品 / ニコンオリジナルカメラバッグ、賞状

三富香織里さん 裾野市立須山中学校(静岡県)

本人からのコメント

今回、賞をいただき、とてもうれしく思います。ありがとうございます。これからも人に共感を与えるような写真を撮っていただけるように頑張りたいです。

担任の先生からのひと言

三富さんは、自分の考えをしっかりと持っている中学生です。独学で撮り続けて今年は写真連盟に加盟して作品展にも参加しました。写真をとおして人の輪を広げています。

編集部から

三富さんは個人応募にもかかわらず、毎回たくさんの作品を送ってくれています。質・数とも他校の写真部にひけをとらないその頑張り、今回特別に、審査員特別賞を設けました。



左:担任の荒井賢二先生
右:三富香織里さん(3年)

グランプリを惜しくも逃した上位10校(順不同) 来年はキミたちの番だ!

栃木県立栃木工業高等学校・八代白百合学園高等学校・尚志高等学校・千葉県立柏南高等学校・鳥取県立鳥取豊学校・島根県立松江農林高等学校・愛媛県立八幡浜工業高等学校・京都市立銅駝美術工芸高等学校・新潟県立松代高等学校・敬愛大学八日市場高等学校

審査員 おおにし・みつぐ
1952年東京・深川生まれ。下町を撮り続ける写真家。ニッコールクラブ幹事、日本写真協会会員、東京総合写真専門学校講師、武蔵野美術大学非常勤講師。



「出航」安斉 拓真 横浜市立六角橋中学校3年

・デジタル一眼レフカメラ ・50mm ・F10 4秒 ・ISO250

豪華客船の出航はとてもドラマチックです。鳴り響くドラの音、五色のテープなどという古典的な要素はさておき、見送る側と旅立つ側の心の通わせ方は詩情あふれ、文学的ですからあります。しかし、船は出ていきます。その極めて短い「時間のドラマ」を安斉くんはブレの効果を用いて見事に描いてくれました。近くから懸命に撮影しているアマチュアカメラマンのおじさんにはこうは見えなかったはず。カメラポジションが格別によかったのです。船の中にはクリスマスの賑やかさがあったとのこと。私たちは写っていないシーンでも十分に人々の表情などをそこにイメージさせることができるようです。秀逸でダイナミックな一枚です。

表紙に大きく載ってるよ!!



「ばあさん、元気しとつてな～」
岩上 桃子

熊本県・八代白百合学園高等学校1年
・デジタルコンパクトカメラ ・Pオート

おばあちゃん、お母さん、そして、あなた。きれいに重なる同心円の真ん中には「生きることの素晴らしさ」が見えてくるはず。あなたは「未来」そのもの。しかも、あなたが生きてここにいる道筋をこうして確かめられる。そうやって人の「生」を確かめることのできる道具がカメラなのだと思います。素朴なシャッターには作為などなく、今こうして時を共にする喜びが感じられます。無理のない的確なフレーミングも、私たちの等身大の世界を丁寧に物語っていて好感が持てます。



第143回 TopEye賞受賞

安斉 拓真くん
受賞のコトバをどうぞ!!

12月24日に横浜・みなとみらいで撮りました。この日はオフィスビルが全館点灯するので、それを撮るためにデジタル一眼レフカメラ2台とレンズ4本と三脚を持参。人が非常に多く、撮影場所を確保するのに苦労しました。ステッチ用の写真を撮っている途中に、偶然、飛鳥が出航して、こちらのほうがフォトジェニックだと思い撮影。偶然、船の中で使用されたストロボも適正露出となり、クリスマスの雰囲気伝わってきてよいと思いました。



総評“ レンズをとおして、新たな発見を ” / 大西みつぐ

今回は写真表現ならではの特徴がよく出ているものが目立ちました。トップアイ賞をはじめとして「動き」を画面の中に盛り込んでいる作品が面白かったです。反対に、時間を止めていくというか、瞬間を切り取っていく作品にも、たしかみなざしを感じました。「写れ、いい」といっただけでは寂しい。シャッター速度ひとつとっても、さまざまな描写がそこから生まれるということを学んでください。どのように写るのだろうかというワクワク感こそが、写真の楽しさの根源かも知れません。友達をテーマにしても、単純にふざけるだけで終わらない、新たな発見や個性との出会いに期待しようという心が大事です。



「虹色の旋律」川村 尚彦 長野県・伊那北高等学校2年

・デジタル一眼レフカメラ ・50mm ・F2 1/500秒

タイトルもさることながら、コメントに「リズムカールに配置されるよう工夫しました」とあり、さながらベテランアマチュアカメラマンのような弁です。このうまさはどこから来ているのでしょうか。お父さんの影響でしょうか。シャッター速度がどんな効果を生むのかというところをしっかりと知っている点がすごいと思います。また「玉」をきれいに印象づけるフレーミングもすごい。大人びています。

「夏休み」関谷 美奈子 新潟県立十日町総合高等学校1年

・一眼レフカメラ ・28-90mm ・Pオート ・UVフィルター ・プレスト400

別に昼寝などしたくもないのに、「寝なさい」と言われ、真夏の午後の物憂げな時間が始まります。少年もきっと、ほんとの自分の居場所はどこではないと思っているはず。偶然通りかかったお姉さんのカメラに少し反応しただけ。あちらとこちらの短い夏の瞬間が見事に交錯しました。言葉のないドラマはこうしていつも私たちの前に展開していくのですね。しみじみとしたいい写真です。



応募にあたっての注意

- 宛先をしっかりと確認
前々号から宛先が変更になっています。応募用紙で確認してください。
- 応募用紙は最新のもの
応募用紙は、必ず最新号に同封されているものを使用してください。
- その他、12ページの「編集部からのお願い」も読んでください。

「ぐるぐる1000倍速!」日野 香穂

千葉県立柏南高等学校1年 ・デジタル一眼レフカメラ ・18-35mm

・F5.6 1/4秒 ・ISO400

こうしたクリエイティブな写真に出会いますと、一体どのようにして撮ったのかという「技法」に関心に向くのですが、それよりも、ここからどのようなイメージが押し寄せてくるのかということの方が重要かもしれません。このスローシャッターによる軌跡は、イリュージョンとしての美しさを越えて、まるで手元から白い鳩が飛翔するかのような印象を与えます。



（もうヒトイキDE入賞!! 願不同）

- ・「過去」森川あみ 三重県立神戸高等学校1年
- ・「運動会」高塚梨那 鳥取県立鳥取豊学校1年
- ・「夏花火」山本さやか 新潟県・中越高等学校2年
- ・「小町」神田ひとみ 新潟県立新発田高等学校2年
- ・「放課後」大竹まみ 茨城県立波崎柳川高等学校2年

- ・「現代浮世床」渡部直哉 秋田県立横手高等学校3年
- ・「POSTROCK」小高大幸 山梨県立甲府西高等学校2年
- ・「WAKOUDO」瀬高あい 新潟県立新発田高等学校2年
- ・「Are you ready?」小田佳奈 千葉県立柏南高等学校1年
- ・「しめ縄おじさん」野上優花 新潟県立松代高等学校1年
- ・「老舗の笑顔」渡辺将好 新潟県立柏崎常盤高等学校1年
- ・「freedom」石松祐佳 熊本県・八代白百合学園高等学校1年
- ・「あんだよとカマキリ」林 麻衣 香川県立坂出商業高等学校1年

次のページでは
写真入りで
紹介するYO!!



デジタル一眼レフカメラ
「ニコンD40レンズキット」
賞状



デジタルコンパクトカメラ
「ニコンCOOLPIX L6」
賞状



ニコンオリジナルカメラバッグ、賞状

ニコンオリジナルポーチ、賞状

次号は「先生だけのフォトフォトサロン」です。応募締切は

2007年
3月10日

次回「フォトフォトサロン144th」応募締切は

2007年
5月10日

当日消印有効。応募に関する注意事項は応募用紙を確認して!!

*入賞作品はニコイメージングのサイトで掲載中!チェックしてみよう! <http://www.nikon-image.com/jpn/enjoy/gallery/topeye/>

佳作



「Man in the mirror」吉田 征五

北海道札幌平岡高等学校2年 • デジタルコンパクトカメラ • オート
自分がカメラの中に入ってしまうような、不思議な相似形という「フラクタル構造」か。鏡の世界はもとよりミステリアス。好奇心を発揮させ、さらにトリップしてみましょう。独自の楽しみがあっという間のです。

「ハルイちゃんとみかん」佐藤 真珠

福島県・尚志高等学校3年 • D50

なにかのご祈祷でしょうか。あるいは隠し芸大会か。いずれにせよ、ハルイちゃんの幸せが感じられます。背景もそこその生活感があって結構です。古くさい家族写真を超えるような脱力感が素敵です。



「優しいまなざし」小島 安希

愛知県立半田農業高等学校2年
• デジタルコンパクトカメラ

ポートレート作品としてきれいに仕上げていますし、モデルさんたちもかわいい。撮る側と撮られる側の幸福な時間が表現されていると言っていいでしょう。少し斜めからの角度というのいい。



「やさこいの足音」三富 香織里

静岡県裾野市立須山中学校3年
• デジタル一眼レフカメラ

• 17-85mm • F5.6

ポピュラーな被写体をよくこれだけ切り取れたなと思います。ただ、もう少し「群衆」の感じが欲しいですね。あと数人いれば、わずかなズレが重なり、もっとエキセントリックな描写になったでしょう。

「おじいちゃんと一緒に」石川 拓也

栃木県立栃木工業高等学校2年

• 大判(4×5)カメラ
• 135mm • F16 1/15
• L39フィルター
• ネオパン100アクロス
落ち着いた、いい写真です。二人の時間を邪魔していないところがいい。そういうシャッターこそが大事なのです。できればちょっとカメラを引きましょう。周囲の状況をもう少し描写したいですね。



視想講座

vol.236 中里和人

日常の中にある見知らぬ世界



写真集「R」(冬青社)より

見えなくなっている風景、見すごしている景色が見たい。

そういう思いがずっとあります。人は大きなにつれて世界を見る目が詰まってくところがあるでしょう。常識や概念の輪っかにはまってしまう。でも、それをはずして景色そのものが見えたときが面白いんじゃないかと。

カメラを持つと、自分の中で眠っていたレーダーが動きだし、風景や空気を敏感にキャッチする。すると見えなかったものが見え始めるようになり、歩き慣れた街の中にもたくさんの風景の宝が埋もれていることに気づくわけです。何が入ってくるかは、その場にならないとわからない。頭で考えられることなんてごく一部、

現場にはその何百倍もの「リアリティ」がある。上の作品にしても、カーブはいいたところにあるわけですが、シャッターを切りたくなるカーブは少ない。「道の先にはぐれていく感覚」や「道の向こうから何かができそうな気配」が漂ってこないと撮れない。それを見つけたときに撮るのが写真です。核に「感じたこと」がないと意味がないから。

子どもの頃のように言葉じゃなくてダイレクトに世界をつかむ。そんな動物的な反射で風景にぶつかることで、自分の感覚の卵が何なのかわかる。それがこれまで見えなかった世界への鍵となって広がります新しい風景。それこそ僕が撮りたいものなのです。

中里和人

Profile

1956年三重県生まれ。東京造形大学助教授。長屋や市場で写真展を行うインスタレーションにも取り組む。2003年第15回写真の会賞、2005年さがみはら写真新人奨励賞受賞。写真集に『小屋の肖像』『キリコの街』『路地』など。
<http://www.nakazato.info/>



5月に合同展「見えるもの、見えないもの」が陳列館(東京芸術大学内)で、「舟小屋」がINAX名古屋・大阪のギャラリーで開催予定。日程など詳細に関するお問い合わせは各会場まで。

• 「氷づけの記憶」塚岡 裕太
長野県伊那北高等学校2年

なかなかいい被写体を発見しました。しかもモノクロームによる表現は美しい。しかし主役である落ち葉の入れ方が少々中途半端でした。再チャレンジして欲しいです。



• 「面構え」中元 麻祐子
広島県立廿日市西高等学校1年

大胆な撮り方がいいなと思うのですが、デジタルカメラの設定で「画像サイズ」をもう少し大きくしてください。ちょっとギザギザが出ています。



バコバシ 写真部!!

今回紹介する柏南高校写真部は、高校写真界でメキメキと頭角をあらわしてきている注目の学校。個性的な人が多く、校内でもその存在感がキラリと光っているという部員たちは、取材中もとにかくみんながとっても楽しそう。「写真大好き!」というオーラがビシビシ伝わってくる元気いっぱいの写真部です。

千葉県立柏南高等学校 写真は“楽しんで撮る”から楽しい!

部長の荘田遥さん、副部長の岡田昌之くん。2年生の二人は修学旅行のため残念ながら当日欠席。

●部費獲得の努力:
部費の必要性を認めてもらうため、コンテスト受賞や撮影活動を校内で地道にアピール。



- 部員: 1年生 15人 2年生 2人 3年生 12人
- 部費の使い道
予算: 生徒会予算として約 6.5万円
部員は、1か月あたり約 70円を負担。
支出: インクジェットプリンタ、プリンタ用インク・用紙、コンテスト応募の郵送費など。

最後列左上から、1年生北村絵理さん、鈴木里美さん、日野香穂さん、長瀬美紗さん、清水桃子さん、高島雛子さん、4列目: 宮崎遥さん、秋葉詩織さん、眞藤裕子さん、3列目: 大石幸代さん、梶尾咲嬉さん、白井友佳子さん、橋本安希子さん、小山理紗さん、小田佳奈さん、2列目: 3年生今給黎香里さん、高木佑輔くん、井上雄三朗先生、最前列 3年生多田済香さん、辻井由貴さん、安達智美さん。



写真が趣味の井上先生。部員のみんなからとても慕われています。

「なんか面白そう」 部員が急増

部員は29名。実は3年前は部員総数1ケタの静かなクラブでした。変わったきっかけは、2004年から顧問になった井上先生、そして「なんか面白そう...」と敏感な嗅覚で入部してきた当時の1年生、現3年生たち。アッという間に写真のトリコとなり、専属カメラマンよろしく友だちやクラスメイトを校内で撮りまくり。青春の1ページ、いえ、何百ページを刻みまくるその楽しそうな姿に触発され、続々と部員が集まり、気づけば現在のようなにぎやかなクラブになっていました。

経験に勝る教科書なし!

カメラや撮影を、一つひとつ手さぐりで覚えてきた部員たち。試行錯誤しながら学んだことは写真部の宝。この日も3年生が1年生へ自分たちの知識や経験をいろいろと伝授していました。後輩たちは「なるほど!」「さすが!」とさっそくチャレンジ。先輩たちに負けず1年生も撮影に工夫をこらします。「写真って楽しい!!」という気持ちがあふれていました。

校内の紅葉を撮影。
見慣れた景色をどう撮ろうかな~。



こう撮りました。

こんな遊びもできるから、
写真が好きなのさ。



作品できたよ。
見てみて~。



作品づくりで 目と腕を鍛える

暗室がないため主にデジタルカメラで撮影し、パソコンとプリンタで作品をつくります。パソコン画面上で作品を選出し、これぞ!と思うもののみをプリントアウト(経費削減だ!)。それを見て「イイ表情が撮れてる!」「タイトルはどうしよう?」と部員同士でワイワイ。人に写真を見せたり、人の作品を見たりすることは、写真を見る目を鍛える。2004年からコンテストへの応募を始めたにもかかわらず、数々の受賞歴がある柏南。その秘密は、きっとこんなコミュニケーションにあるのでしょう。

チラッと聞こえた センパイ名言集

“ ヨコを撮ったら
タデも撮る ”

これは3年生たちが1年生のときに呪文のように(!)唱えていた言葉。同じ被写体もタデ・ヨコを変えて撮影すると新しい魅力が見つかる気づきました。

“ モデルには
話しかけるのよっ ”

無言で撮影する1年生には「話しかけなきゃモデルさんも緊張するよ。遠慮せずに注文も出して」と3年生がナイスアドバイス。そうそう、写真はコミュニケーションです。

“ 使える物は
なんでも使って ”

「フラッシュに紙をかぶせるとソフトな光になるよ」と近くにあったワラ半紙を「ベリッ」。おお、ワイルド~。でも、仕上がった作品はとてもやさしい印象。さすがは先輩!



作品選びは画面上で。「どれにしよう~」と迷うのも楽しい。



「どっちがイイ?」とみんなに相談。どちらも捨てがたい!!

写真する喜びを感じて



千葉県高等学校文化連盟写真専門部委員長 篠崎 保夫

例年の活動の中心は、合同写真展と写真教室です。写真展は本年度で40回目を迎えます。生徒の刺激になればと一昨年から会場に顧問の先生方の作品展示をはじめました。デジタル写真の台頭は千葉県でもすさまじい勢いがあり、昨年の合同写真展でのデジタルカメラとフィルムカメラの比率は4対7。やがてデジタルがフィルムを凌駕すると思われます。写真教室は東京で行い、毎年プロの写真家から

いろいろな指導を受けております。昨年はスタジオ撮影に初挑戦。多くの生徒が「いい経験をしたと確信しています。これからも、すべての写真部生徒が「写真する喜び」を感じながら活躍することを祈念します。



10月に行った写真教室の様子



前部長で3年生の高木佑輔くん。クラスの卒業アルバムの撮影を担当した名カメラマン。

斉藤式 Top Eye デジタル写真塾 その4

写真も美しく

プリントしよう！

知れば知るほどカメラのことが好きになり、毎日夢中で撮影しているEyeちゃん。この1年で、デジタルカメラの基本的撮影法について、かなり詳しくなってご満悦の様子。しかし、最近になって“あるコト”については、ほとんど知らないことに気づきました。撮影と同じくらい大切な“あるコト”、それはいったい何なのでしょう。講師／斉藤勝則



Eye:
 実はね、私、プリントについてまったく知らないの！これまで撮った写真も全然プリントしていないし、友達からも写真が欲しいって言われて困っちゃって…。どうすればいいの？

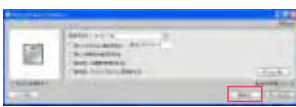


先生:
 よ～し、それなら今日は、プリント法を勉強しようか。デジタルデータのプリントは、写真店でするプリントやプリンタから直接印刷するダイレクトプリントがあるよね？ これらも簡単にイイと思う。でも、パソコンのソフトを使うと、よりキレイにプリントできるんだ。今日はその方法を教えてあげるよ。

「PictureProject」を使って説明していくよ。ニコンのデジタルカメラに付属しているソフトだから、必ずインストールしておこうね。



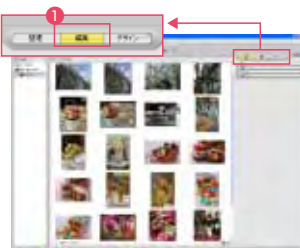
まずは、データの整理を。



メモリカードをカードリーダーに差し込む、あるいはカメラとパソコンを付属のUSBケーブルで繋いでカメラの電源をON.すると自動的に「PictureProject Transfer」が起動するから「転送」をクリック。



転送中を示すダイアログが表示される。

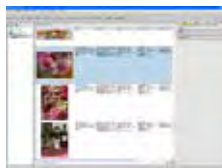


転送が完了すると、「PictureProject」が起動して、サムネイル画像が表示される。プリントする画像を決めたらクリックして選択。そして、画面右上の「編集」をクリック。

CHECK!
 表示形式は他にもあるよ。いろいろ使ってみて、自分が使いやすいものを選ぼう。

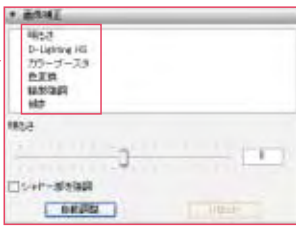


「写真およびサムネイル」表示



「一覧」表示

つぎに、写真を編集しよう！



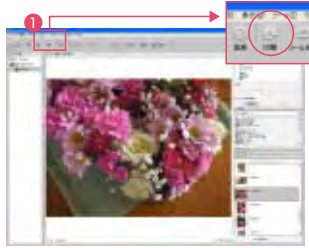
選んだ画像が大きく表示される。[編集]モードでは画像を簡単に補正することができるよ。JPEG・TIFFデータだけでなくRAWデータの画像の補正もできるから便利。編集機能は、[明るさ] [D-Lighting HS] [カラーバースタ] [色変換] [輪郭強調] [傾き]の6種類がある。



好みの機能を選んで編集しよう。上は「カラーバースタ」を使った例。被写体の色も、こんなに色鮮やかにできるんだよ。写真をよりキレイに、そして自分のイメージに近づけよう。

こんなに鮮やかに！

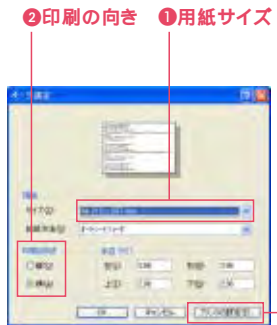
さあ、いよいよ印刷だ!!!



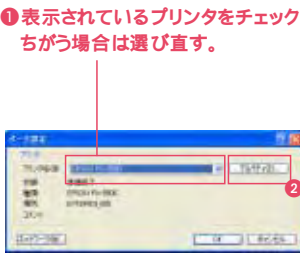
編集が終わったら印刷に入るよ。まずはメニューアイコンの「印刷」をクリック。



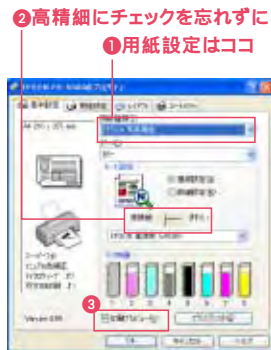
[印刷]のダイアログが表示される。ここから、いろいろ設定していくよ。まず下部にある「ページ設定」のボタンをクリック。



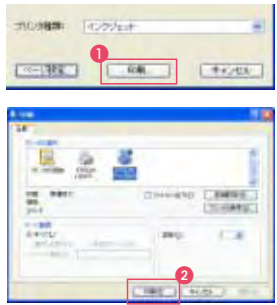
[ページ設定]では、用紙サイズと向きを設定。用紙サイズはプルダウンメニューに表示されるものから、向きは縦・横から選ぶ。設定したら「プリンタ設定」ボタンをクリック。



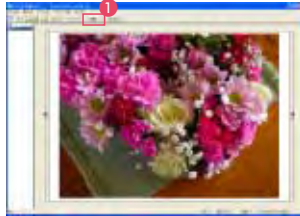
使用するプリンタを選ぶ。プリンタがちがっていたらプルダウンメニューから選択。そして「プロパティ」ボタンをクリック。画像はエプソンPX-5500。エプソンなら他の機種でも設定内容はほとんど同じです。



使用する用紙・モードを設定。モード設定は「高精細」にして、[EPSON基準色(sRGB)]になっていることを確認。そして、「印刷プレビュー(V)」のチェックボックスにチェック。そして、「OK」ボタンをクリック！



(上)「印刷」のダイアログに戻るよ。そしたら「印刷」ボタンをクリック。(下)画像のようなダイアログが表示された場合、そのまま「印刷」ボタンをクリックします。



[EPSON 印刷プレビュー]が表示されるので画像を確認して「印刷」ボタンをクリックすれば印刷開始！あとは写真が出てくるのを待つだけでOK。



簡単だね！写真もキレイになるしスゴいわ。純正の写真用紙を使って、たまっていた分を急いでプリントしなきゃ！



写真は、楽しい時間をいっしょに過ごした証。キレイな写真をあげれば、きっと友情も深まるよ。プリントに慣れたらニコン「Capture NX」にも挑戦してみて。さらにいろいろな仕上げができるよ。

さて、次回のテーマは ホワイトバランス & ISO感度。

ふたつともデジタルカメラで撮影する上で大事なポイント。しっかり勉強しようね。



このコーナーでは、全国の写真部の活動情報をお届けします。見て、読んで、そしてガンガン撮って、どうぞ他校との交流の輪をひろげてください。みんながつくるこのコーナー。ちょっとしたことから大きな事件まで、どんな投稿でも大歓迎です。たくさんの情報を待っています。

NEWS-1

第2回 TopEye出張デジタル写真塾 in広島

協力:エプソン販売(株)

前号で第1回目の模様をお伝えした「TopEye出張デジタル写真塾」。第2回は広島県へ行ってきました。広島県高等学校写真連盟主導の「デジタル写真技術大会」としての開催で、参加校は4校でした。会場となった広島城北高等学校から4名と、県立高陽高等学校から3名、県立祇園北高等学校から2名、県立廿日市西高等学校から4名、広島工業大学高等学校から3名ほか各校顧問の先生方の総勢24名が参加してくれました。まずは、二コンフォトコンサルタント倉持永による写真講座からスタート。そして、いよいよ撮影会! 撮影場所は城北高等学校に隣接する幼稚園です。

カメラを持ったお兄さん、お姉さんに園児たちはおおはしゃぎ。「撮って、撮って!」と近づいてくる子どもたちに、撮るといふより撮らされているという感じの参加者も。「デジタルカメラは撮影残りコマ数を気にしないでいいから、失敗を恐れず、たくさん撮ろう!」とコンサルタントからの助言もあり、みんな積極的に撮影しました。朝10時にスタートし、講義と撮影会の後、エプソン販売(株)の講師 木戸真樹氏によるプリント講義・実習までハードな日程をこなした参加者たち。今回の講義を活かして、さらに自分らしい作品づくりをしてくれたら嬉しいです。「フォトフォトコンテスト」への応募も待ってます!



(1・2) デジタルカメラ初心者も経験者も、まずは基礎講座を受けました。(3・4・5・7) 興味津々でちかづいてくる園児たちをD70sで撮影。(6) プリント実習で早速今回撮影したデータを出し。"早い""キレイ"に驚き。(8・9) プリントした写真をならべてコンテスト開催。上位4名を選出しました。(10) 見事、一席に輝いた村上一路君。おめでとう!(11) 2席に選ばれたのは、元屋油樹廣君、佐伯卓音君、柿本有里花さんの3名。(12) 4校から集まった写真部のみなさん16名と顧問の先生方および講師ほか。

NEWS-2

トップアイ編集部からのお願い

フォトフォトサロンはルールを守って応募しよう!

毎号、全国のみなさんからたくさんの応募をいただいている「フォトフォトサロン」。いつもたくさんの作品を送ってくれてありがとう。ただ、せっかくよい作品なのに、ルールを守れていないものもあり、残念です。応募要領をよく読んで、応募してくださいね。お願いします。

■ 宛先は正確に記入

前々号から応募の宛先を下記のとおり変更しています。それに気づかず前住所に送ってしまったため、作品が審査に間に合わない...なんてこともあるから気をつけてください。
宛先の記入間違いで審査日に届かなかった作品は、次の選考対象となります。

〒104-0061 東京都中央区銀座7-10-1(STRATA GINZA)
ニコンカメラ販売株式会社イメージングサポート部
「TopEyeフォトフォトサロン係」

■ プリントサイズを確認

フォトフォトサロンのサイズ規程はキャビネ・2L以上、四ツ切・A4まで。それ以外のサイズだと、どんなによい写真でも失格になってしまうから気をつけて。また、デジタルプリントする人は用紙の選び方にも気を配るようにしてください。いろいろな紙を使って、同じデータを出してみれば一目瞭然。紙によって色の出方、雰囲気が変わってきます。オススメはプリンタメーカー純正の写真用紙を使うこと。それだけで作品の仕上がりがかぐとよくなります。

■ 作品の向きも大切

写真によっては、作品の向きがわかりづらい場合があります。写真の向きは作者の意図だから、審査員にしっかり伝えることが大切。そのためにも、写真の裏に上下を記入する、作品の向きにあわせて応募用紙を貼るなど工夫してください。

■ 組写真は順番がわかるように

組写真をおくる時は「何枚組」「並び方」がわかるようにしてください。組写真の魅力は、複数の写真をどう並べるかによって、全体の印象が変わってくる。そこに作者のセンスが光るのです。それが、わからなかったらガッカリ。「3枚組左、中、右」と書く、通し番号をふるなど応募用紙や写真の裏に工夫してくれるとわかりやすいです。

■ 住所や電話番号をしっかりと記入

作品について編集部から確認の連絡をすることがあります。応募用紙の自宅住所・電話番号は省略せずにきちんと書いてください。また、入賞作品は展示会のためにフィルムやデータを後日送ってもらう場合もあります。応募した作品、撮影データはしっかりと管理しておいてください。

■ 撮影データ記入も忘れずに

応募用紙の撮影データを記入していない人が本当に多いです。カメラの種類、レンズの焦点距離、絞り値、シャッタースピード、フィルター・フィルム、印刷法...。自分がどんなカメラで、どのように撮影・プリントしたかを書くことまでが作品づくりと心得て、忘れずに記入してください。

■ 応募用紙は最新のものを

応募用紙には、応募に関する最新情報を記載しています。必ずいちばん新しい号に同封されているものを使ってください。応募用紙をコピーして使う学校も多いと思いますが、その場合も必ず最新のものをコピーするよう注意してください。

NEWS-3

D40、中高生にも大人気!

昨年12月に発売したばかりのD40。おかげさまで、早くも大評判になっています。なんといってもその特長は「小さく使いやすいこと」として「一眼レフカメラなのに、お手ごろ価格」であること。「ガンバレ写真部!」や「TopEye出張デジタル写真塾」等で写真部のみなさんに使ってもらいましたが、「ゼッタイ欲しい!」と大好評。みんなも近くの販売店等でぜひD40を手にとってみてください。



訂正のお知らせ

第142回フォトフォトサロン
「TopEye賞」該当者なし

前号に掲載したフォトフォトサロンについて、「TopEye賞」受賞作品の3枚組の内1点が既発表作品であったことが判明したとのことにより、ご辞退の依頼がございました。従いまして、第142回フォトフォトサロン「TopEye賞」は該当者無しと訂正させていただきます。

投稿待ってます!

学校の自慢や写真展の告知、カメラについての悩みなど、どんなテーマでもOKです! 以下の項目を明記して編集部までお送りください。

コーナー名 写真キャプションまたはコメント 学校名
とクラブ名 あなたの住所 氏名 電話番号 使用
可能なメールアドレス トップアイの感想・要望 など

ご応募いただいた方の個人情報を他の目的で使用することはございません。

宛先 〒104-0045
東京都中央区築地1-9-2 ISETSUNEビル4F
(株)アドバタイズ TopEye編集部宛
ファックス番号(03) 5148-0566

E-mail address topeye@nikonoa.net

掲載者には、
素敵な記念品
をプレゼント!

今年もやります! 昨年の入賞作品をまとめて展示!!

2006年 TopEyeフォトサロン入賞作品展

お待たせしました! Top Eyeの人気コーナー「フオフォトサロン」の2006年入賞作品展を今年も開催します。

展示するのは、2006年2-3月号から12-1号までに掲載された「フオフォトサロン」「先生だけのフオフォトサロン」入賞作品44点。

展示用にあらためてプロラボでプリントしました。

みんなの力作が一堂に見られるまたとないチャンス、どうぞお見逃しなく!!



三宮香織さん「野焼き」...2006年10-11月TopEye賞



弓場康廣先生「夫婦(めおと)」...2006年4-5月号TopTeacher賞



亀倉恵美さん「帰宅を願う」
...2006年2-3月号TopEye賞



手塚駿征くん「浅瀬に立つ5人」
...2006年6-9月号TopEye賞

全国も巡回します!

入賞作品展は全国を順に巡回します。会場は各地のニコンサービスセンター内ミニギャラリー。詳しくは後日お知らせするので、近くの方はぜひ足を運んでね! ミニギャラリーでは“誰でも”“無料”で写真展を開けるよ。お問い合わせは各サービスセンターまで。



昨年開催した作品展の様子

日程

休館日は開期中のものです。

銀座: 4/21~5/10(☎03-5537-1434)
福岡: 6/11~22(☎092-415-6350 土・日曜日休み)
仙台: 7/2~31(☎022-227-1237 土・日曜日、祝日休み)
梅田: 8/3~14(☎06-6348-9730 水曜日休み)
名古屋: 8/20~31(☎052-954-0122 土・日曜日休み)
札幌: 2008年1/7~25(☎011-717-5781 土・日曜日、祝日休み)

Nikon Salon Information <http://www.nikon-image.com/jpn/activity/salon/>

銀座 (03) 5537-1469 10:00~19:00(最終日は16:00)	新宿 (03) 3344-0565 10:00~19:00(最終日は16:00)	ニコンサロンbis (03) 3344-0565 10:00~19:00(最終日は16:00)	大阪 (06) 6348-9698 10:00~18:00(毎週水曜休館)
- 緒佐古晶章「Minha Vida(私生活)」 2/14~2/20 - 北島敬三「USSR 1991」 2/21~3/6 - 渡邊博史「I See Angels Every Day 私は毎日、天使を見ている。」 3/7~3/20 - 穴戸清孝「21世紀への帰還・第5弾」 3/21~4/3 - ハナバサ・リュウ「美の王国」 4/4~4/17	- 日本カメラ社「2006日本カメラフォトコンテスト展」 2/13~2/19 - 山崎節男「海のセラピー」 2/20~2/26 - Juna21 地頭所和徳「街は箱庭~展望台は玉手箱~」 2/27~3/5 - 中村明弘「郊外のカタストロフィー」 3/6~3/19 - 高木サダ子「匂い立つ大地」 3/20~3/26 - Juna21 元木ゆき「息の結び目」 3/27~4/2 - 狩野久美子「BACKYARD - 隠れた庭 - vol.4 from past to you」 4/3~4/16	- 日本カメラ社「日本カメラ自然と風景フォトコンテスト2006」 2/13~2/19 - 東京造形大学写真専攻2006年度卒業制作作品展「プロローグ」 2/20~2/26 - 阿部直樹「午後の庭」 2/27~3/5 - 日本写真芸術専門学校写真科フォトアートコース卒業作品展 3/6~3/12 - 東京工芸大学芸術科修了写真展 3/13~3/19 - 東北芸術工科大学映像コース写真ゼミ卒業制作展 3/20~3/26 - Juna21 田中 舞「たおやかな光」 3/27~4/2 2006年TopEyeフォトサロン入賞作品展 4/3~4/9 - ニッコールクラブ京浜支部「中越の秋 山古志、松之山」 4/10~4/16	- 第54回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展 第2部カラー/第3部ネイチャー 2/15~2/27 - 日本カメラ社「2006日本カメラフォトコンテスト展」 3/1~3/6 - 日本カメラ社「日本カメラ自然と風景フォトコンテスト2006」 3/8~3/13 - ニコンサロン特別展 江成常夫「生と死の時」 3/15~3/27 - 大澤寛幸「ニガヨモギ」 3/29~4/3 - Juna21 Eun-Kyung, SHIN「Wedding Hall」 Hogoym, KIM「Identity」 関口寛人「カンボジア・障害者村に生きる」 吉江 淳「ヒバリのいる所」 4/5~4/10 - 菊地一郎「偽景」 4/12~4/17

スケジュールは変更になる場合があります。詳しくは各サロンにお問い合わせください。

『Top Eye』へのご投稿・情報ご提供・およびお問い合わせはこちらまで。
ニコントップアイ編集部(ニコンカメラ販売株式会社)

E-mail address: topeye@nikonoo.net
TEL: 03-5537-1506